西小倉めぐみ教会通信

2005年12月25日発行
発行者　〒611-0042　京都府宇治市小倉町西浦33-36
TEL　0774-20-3071
西小倉めぐみ教会

「支え合う仲間と共に」

倉橋　剛

主の御名を讃美いたします。

早いもので、私がこの西小倉めぐみ教会に遣わされて８ヶ月が過ぎました。当教会が、まさに、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を多く担いつつ、歩んでいることを、この短い間にも何度も思い知らされる出来事が起こりました。人間の思いでは、とても乗り越えられない困難な事柄が起こってきます。そして、これは本当に信仰に立たないと、祈りに助けられないと、支え合う仲間がいないと、とても、前に進めるものではないことを、改めて教えられています。

そして、同時にこの小さな教会が、苦しい辛い日々を過ごしておられる方々にとって、かけがえのない、心と体を休ませることの出来る大切な場所であることも、実感させられました。今、教会に出席可能な教会員21名のうち、精神しょうがい者の方や過去にその辛さを経験しておられる方が10名おられます。私たちの教会は、毎週礼拝後、昼食を共にいただきますが、先日も心の病を負っておられ手が不自由な方が「何もお手伝いできなくってごめんなさい。」と言われると「そんなことないよ、そこでしっかり全体を見てて、多いとか少ないとか、具が抜けてるとか教えてくれたら助かるわ」と、こんな小さな会話が暖かく教会の中に流れています。後でこの話を教えて下さって「私にもこんな形で出来ることがあるんだって、嬉しい！と思ったんです。」と話して下さいました。また、始めて来られたやはり心に重荷を負っておられる方が「何処へ行っても根掘り葉掘り聞かれていやになるけど、ここはええなあ」と一言言われたことも心に残っています。こんな教会があってもいい、いや必要なんだと強く思わされるのです。

同時に、地域に向けても、特に様々な苦しみの中にある方々に、「福音」のメッセージを伝えていくという大きな課題があります。これから、教会員と力を合わせーからのつもりで考えながら、たとえ小さな働きであっても具体的に行動を起こしていきたいと願っています。

ただ現実的に礼拝出席は、入院しておられる方、自宅で療養しておられる方、また、７月には、思いもよらず大切な教会員が急な病のため天に召されるという出来事もあって、時には10人に満たない日もあります。弱さを抱えておられるがゆえに、経済的には非常に厳しい現状にあります。教区より補助もしていただいていますが、厳しい現状を少しでも打破していくために、今年度に入りこのような小さい教会の働きを覚えていただき、ぜひお祈りと献金をお願いしたいという趣旨で「西小倉めぐみ教会を支える会」発足させました。ここに通信を作成し、今までのお支えをこの紙面を借り感謝すると共に、皆様の益々のご理解とご協力を心よりお願い致します。皆様の上に神さまの祝福が豊かにありますようお祈り致します。

2005年4月からの教会のあゆみ

4月3日　倉橋牧師との最初の礼拝

この日、私たちは倉橋牧師との最初の礼拝を守りました。就任後初めての説教を聞きながら「社会の中で弱い立場の人達と共に歩むこと」を大切にしようとしてきた私たちにとってまさにふさわしい牧師であることを確信し、大きな喜びを感じました。

5月15日 ペンテコステ礼拝

倉橋牧師と迎える最初の教会行事。礼拝後ささやかな祝会を持ちました。

6月12日　花の日礼拝

私たちは11月の永眠者記念礼拝とこの花の日に、城陽霊園というところにある教会の墓地の前で礼拝を守っています。この墓地には、生前教会員ではなかった方も多く納骨されており、信徒だけではなく、納骨されている方々の御親族とも共に礼拝を守りました。

6月19日　倉橋牧師就任式

この就任式には多くの方々にご出席いただきました。私たちの教会はとても小さな群れですが、本当に沢山の方々によって支えられていることを実感させられました。感謝です。

9月18日　立命館大学
国際平和ミュージアム見学

平和主日にあたり、学びの時を持とうと多くの（といっても10名前後ですが）教会員とそのこども達とで出かけました。

戦争にいたる経過や戦争中の生活の様子などが、数多くの展示資料からひしひしと伝わってきました。また戦争は決して過去のものではなく、今なお世界の各地で起こりそれで苦しんでいる人たちがいることを改めて知らされました。

私たちが平和を作り出すために何をするべきなのか、考えさせられた一日でした。

11月6日　永眠者記念礼拝

私たちの仲間が一人、この夏、天に召されました。その方のお連れ合いも共に教会員として過ごしていたのですが、去年亡くなられたばかり。教会員一同、とても寂しく思っています。

この日はその方をはじめとし、教会員それぞれが心に思う人たちと神様が出会わせてくださったことに感謝をして礼拝を守りました。

11月13日　しょうがい者と共にある主日

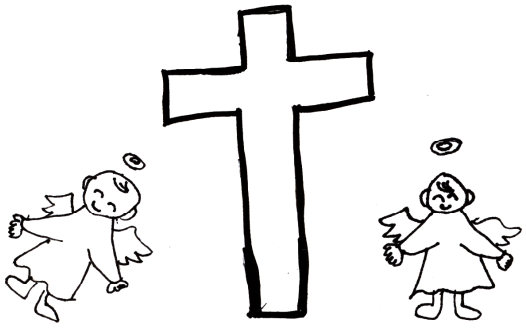
この日は近隣の「愛隣館」職員として、日々しょうがいをもつ方々と共にあゆんでおられる教会員、田中仰さんに礼拝でお話をしてもらいました。

幼き日よりこの教会でともに過ごしてきた仲間の奮闘ぶりを聞かせてもらいながら、命の大切さについて学ぶ貴重な時がもてました。

12月25日　クリスマス礼拝

24日の夜に燭火礼拝、25日にクリスマス特別礼拝を守ります。25日の午後には教会員みんなで鍋を囲んで祝会です。

その後は大掃除と･･･この通信の発送作業をやっているはず･･･です。もっと早く皆様にお送りしたかったのですが･･･。ひとえに編集者の責任です！申し訳ありません･･･m(_ _)m



教会役員からの一言

私は小学4年生の時から、西小倉めぐみ教会の仲間と共に歩んできました。今回神様の不思議な導きで、幼き頃に教会学校で一緒に遊んでもらった倉橋牧師と再び共に教会生活を歩めることは、大きな喜びです。

今回のこの通信の編集を担当させてもらいました。この通信で小さき教会の様子が少しでも皆様に伝われば幸いです。

安達　太郎

主の御名を賛美いたします。

一週間の歩みを終えて週の初めに教会に集い、大切な時を共に過ごしています。その西小倉めぐみ教会にこの春より弱さを寂しさを又喜びを共に分かち合える牧師が与えられました。本当に喜びと感謝です。この日々がどうぞいつまでも続きますように皆様よろしくお願いいたします。

田中　千栄

この社会は、ますます少数者の意見が反映されにくくなっているように思います。弱き立場の者達が集うこの群れが、社会に発言していくことは重要です。

この「支える会」通信が。そのためのささやかな手段となることを願っています。

橋本　博

一人の信徒として毎週教会に通っているけれど「信仰」とはどういう事なのかいつも考えさせれます。私と同じ年齢でロックシンガーだった尾崎豊さんは生前よく言われていました。「生きることは告白することだ」と言う言葉が聖書の言葉と重なります。

団野　利男

それぞれの弱さを抱えた私たちがこの小さな教会に居場所を見つけ、しっかりと根を張っています。

あったかな心豊かさを糧に、このぶどうの木を育てていきたいのです。

門戸　幸子

「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を讃美いたします。

西小倉めぐみ教会は、１９８１年４月、多芸正之牧師による開拓伝道により歩みを始め、以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。

２００５年４月より倉橋剛牧師を後任牧師に迎えた後も、その基本姿勢に変わりはありません。

西小倉めぐみ教会では、教会に集う人たち自身が精神しょうがい者であるかその家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

また、倉橋牧師招聘後の謝儀は、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂いておりますが、教会の施設として牧師館を持っていないため、家賃等牧師館にかかる費用が年間約１５０万円かかります。

同教会のこれからの社会的はたらきをご支援いただくことと併せ、このような経済的事情にどうかご理解をいただき、牧師館に関わる月々の費用を賄うための献金について、どうかご支援いただきたくお願い申し上げます。

２００５年12月
西小倉めぐみ教会を支える会
代表　山下茂雄（醍醐教会牧師）

今までに御献金いただいた方のお名前（敬称略・順不同）

君村千代子　安野優美　佐原英一　向井希夫　竹内富久恵　大門義和・セイ子　恵大一郎　川上信
人見勝　今井牧夫　館山英夫　児島教会　目日町教会　卜部康之・杉岡ひとみ　細川満　廣野智子
糸井国雄・そのえ　南大阪教会　鈴木恭子　宮本真希子　山内友子　橋本博　河村博　足立こずえ
碑文谷教会　杉本節子　門戸幸子　俣田浩一　天満教会　福知山教会　静岡草深教会　丹波新生教会
埼玉新生教会　原田佳卓　瀬戸内市　佐々木寛子　経堂北教会　京都教会　琴浦教会　倉敷教会
宮崎達雄・宏子　山口純弘　広瀬規代志　金沢八景教会　鴨東教会　塩野和夫　竹内宙
京都丸太町教会　団野利夫　団野明日香　上井教会　長岡京教会会計　光明園家族教会　小曽根一枝
府上征三　桃山教会　横浜菊名教会　岩城澄子　まぶね教会　大住世光教会　上鳥羽教会
希望ヶ丘教会　千葉教会　石川宣道　田園調布教会　いずみ教会　西が丘教会　清水教会　田中家
三田教会　平田義　神奈川教会献金奉仕会　新井寛子　匿名　宇治教会　武公子　多芸正之　安達太郎
倉橋剛・容子　山下茂雄

（合計１８２１２１０円　12月２３日現在）

これらの献金は、年度当初に送らせていただいた「ご支援のお願い」にあるように、牧師館にかかる費用や牧師家族の転居に伴う費用に用いさせていただきました。ご支援ありがとうございました。